

仕業検査見直しは改善ではなく改悪 点呼前のタダ働き強制反対！

SEKと団体交渉開催！！

私たちJR東海労新幹線地本は2月5日、「出向先会社の労働条件改善」を要求して、新幹線エンジニアリング株式会社（SEK）と団体交渉を開催しました。

仕業検査の度重なる見直しは何故だ？ 歩きながら改善！？

仕業検査では4か月の間に2回も作業の変更がされました。その理由についてSEKは『より良くするためには変更は何度でもある。常に歩きながら考えている。変化することは当たり前』と答えました。しかし、ここ10年間でみても、ほんの数ヶ月の間に何度も見直しするという事は聞いたことがありません。しかも、何をどう「より良くした」のかは曖昧で明確な回答はされませんでした。

そもそも、作業の変更内容は2回とも「責任者」を新たに配置し、指示・命令の方法を変えるものであり、「より良い」どころか作業性が悪くなっています。私たちは、問題ないのであれば以前のやり方に戻すよう強く要求しました。



「嘘」か「本当」か確かめてください！

点呼前の体操を強要していることは問題だと抗議しました。それに対してSEKは、『強要していない。懲慥（しょうよう）しているだけだ。』と答えました。

懲慥とは「誘い、勧めること」ですから、命令ではありません。つまり、拘束時間外である自分の時間ですから従う必要はありません。

また、『詰所前に管理者を配置していない。管理者が体操に行くついでに声をかけているだけ。体操参加者のチェックはしていない』と回答しました。

みなさん！会社の回答は事実ですか？会社はウソを言っていないですか？もしもウソだったら、団体交渉をないがしろにしていることになります。管理者の配置はないのか・チェックはしていないのか、本当のことを是非私たちに教えてください。

多すぎる始業前の作業！ タダ働きではないの！？

点呼前の体操強要だけではなく、記帳室での工具の準備、夏場は飲み物の準備などをこなして、やっと始業点呼がはじまります。また、点呼前なのに記帳室に来ない人に対して、管理者が電話をかけまくっています。

SEKはこの現状について、『始業前の準備は社員が自主的にやっていることであり、会社は指示していない。やらなくても問題ない』『出勤の確認で電話をしている』と答えました。しかし、始業前の工具準備をしていない人はいるのか？と質したところ、『1人くらいであり、ほとんどの人が準備をしている』と明らかにしました。ほとんど全員が準備をしているのは「自主的」とはいえませんが、「タダ働き」そのものです。点呼前の体操・工具準備・飲み物の準備を勤務時間とすることを再度強く要求しました。

また、記帳室で点呼を行えば、時間外での工具準備も解消できるのではないかと要求しましたが、『現段階では変更できない』と「歩きながら考える」と言ったわりには後ろ向きの回答しかしませんでした。



帳票修正は訂正印でもよい！

「仕業検査車両検査工事完了票」は訂正不可で書き直ししていることから、修正印でよしとならないのか？に対してSEKは、修正が必要な場合は『抹線に訂正印も可能である』と回答しました。

これで余計な負担が軽減されます。

「より良く」は誰のため？ 社員のためにこそ「より良く」すること！



「より良く」するのはいったい何のため、誰のためなのか。社員のためにこそ「より良く」することを強く訴えました。

SEKにも労働組合があります。私たちは、働きやすい職場をつくるためにSEKの労働組合とも協力し、共に声を上げて行きたいと考えています。

作業検査作業方法の改善、交検点呼前のただ働き解消をめざして共に闘おう！

皆様のご意見ご感想を、お気軽にお寄せください！

連絡先(新幹線地本) 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-6-5 TEL03-3201-0350

ホームページアドレス
メールアドレス

<http://www.geocities.jp/jrcushinkansen2/right.html>
jrcushinkansen@yahoo.co.jp